

資料編

資料1 中小企業景況調査票

あて先

射水市商工観光課
TEL 0766-82-1955
FAX 0766-82-8207

中小企業景況調査票

作成基準 [平成25年9月上旬]

調査結果は集計の上、貴社名が特定されないような形で利用いたします。
記入された内容、個人情報等は全て極秘扱いとし、この調査以外の目的に使用することは絶対にありません。
誠に勝手ながら、本票は9月20日(金)までにご投函またはFAXくださいますようお願いいたします。
なお、記載いただいた内容について、個別にお伺いする場合がありますのでご協力をお願いいたします。

所在地		業種	・建設業 ・製造業 ・運輸業 ・卸、小売業 ・サービス業 ・教育、学習支援業 ・その他 ()
貴社(事業所)名		資本金	百万円 従業員 人

「変化」は方向性を表します。

<p>1. 業況の「変化」について、7～9月期の業況を前期（25年4～6月期）と比較し、季節要因を除いて総合的に判断すると、いかがでしょうか。(番号に○を付けてください)</p> <p>1. 前期に比べて、かなり良くなる (季節要因を除いて以下同)</p> <p>2. 前期に比べて、やや良くなる</p> <p>3. 前期と変わらない</p> <p>4. 前期に比べて、やや悪くなる</p> <p>5. 前期に比べて、かなり悪くなる</p> <p>2. 7～9月期の経常損益は前年同期（24年7～9月期）と比較し、いかがでしょうか。(番号に○を付けてください)</p> <p>1. 10%以上 増益 (赤字縮小含む)</p> <p>2. 3%以上10%未満の増益</p> <p>3. プラスマイナス3%内</p> <p>4. 3%以上10%未満の減益 (赤字拡大含む)</p> <p>5. 10%以上 減益</p> <p>3. 25年10～12月期の業況「変化」の見通しについて25年10～12月期の業況を当期（25年7～9月期）と比較し、季節要因を除いて総合的に判断すると、どのような見通しとなるでしょうか。(番号に○を付けてください)</p> <p>1. 当期に比べて、かなり良くなる (季節要因を除いて以下同)</p> <p>2. 当期に比べて、やや良くなる</p> <p>3. 当期と変わらない</p> <p>4. 当期に比べて、やや悪くなる</p> <p>5. 当期に比べて、かなり悪くなる</p>	<p>4. 現在の経営上の問題（課題）について、次のうち1位～3位まで順位を付けて、該当する番号を記入ください。その他は()に記入ください。</p> <p>1位 () 2位 () 3位 ()</p> <p>1 大企業や大型店の進出 2 新規参入業者の増加</p> <p>3 ニーズの変化への対応 4 施設や設備の不足・老朽化</p> <p>5 施設や設備の過剰 6 在庫の過剰</p> <p>7 人件費の増加 8 仕入れや原材料費の経費増加</p> <p>9 人件費や仕入れ・原材料費以外の経費の増加 10 後継者の不足</p> <p>11 販売（製品・サービス含）単価の低下・上昇難</p> <p>12 金利負担の増加 13 取引条件の悪化</p> <p>14 事業資金の借入難 15 代金の回収難</p> <p>16 従業員の確保難 17 経験者の確保難</p> <p>18 官公需要の停滞 19 民間需要の停滞</p> <p>20 その他 ()</p> <p>5. 4について、具体的にはどのようなことでしょうか。貴社でお感じになられている課題を一例でも結構ですのでご記入ください。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>
--	---

6 中小企業の振興のため、市へどのような意見・要望（施策の改善・要望）がありますか。(番号に○を付けてください、複数回答可)

1. 新技術や新製品の開発支援 2. 新分野進出に対する支援 3. 企業誘致 4. 融資、信用保証制度の充実

5. 販路拡大への支援 6. 雇用創出に対する支援 7. 人材育成や後継者に関する支援 8. 勤労者福利厚生の実

9. 下請け(受注あっせん)対策 10. 内需振興策 11. 経営相談、有益情報の提供 12. その他

*ご意見・要望をご記入ください。(文例：～をしてほしい。そうすれば～につながる。)

ご協力ありがとうございました。

資料2 中小企業景況調査 設問5 現在の経営上の問題（課題）について

項目	意見等
主に経済動向に起因すること (業種別)	<p>【建設業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5年前から単価の上昇がない ・工事の設計価格が原価割れとなるケースが多い ・大手から下請けで仕事を行う際の人件費等がカットされる ・請負金額が安い。経費等を差し引くと赤字になる ・ガソリン代が高騰した ・材料費の値上がりした。値段が変わらないところは配送費等で経費の一部負担を求めてくる ・受注金額に対して材料費の割合が大きい
	<p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工食品を製造しているが（昆布巻き等）売上げが減少した。また、値上げも出来ず利幅が少なくなっている ・大企業の改革により下請けにしわよせがきってしまう ・前年より数量減、単価3%引かれてしまう ・市場価格が更に引き下げられる中、材料関係のコストが増加している ・生産量の減少が一番の課題である ・仕入れ価格は上昇傾向にあるも、販売価格を上昇させることが困難である ・主要材料を国外から調達しているのが為替変動（円安）による原材料の価格が上昇しコストアップになっている ・同じことをしても年々単価が下がってきて、売上げも毎月上下が激しく利益も下がってきている ・LPガスユーザーの減（オール電化に移行）、小口供給から大口供給（バルクローリー）への変化等がある ・大型店の増加、ドラッグストアでの食品販売などにより個人経営店では難しい ・主要顧客の仕事量の激減と競争入札制度の導入により、価格面でも下げざるを得なくなった
	<p>【運輸業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃の停滞、燃料の高騰、諸経費等が増加した ・運賃の値下げを強いられる ・軽油価格の上昇、高速道走行による（労働環境の改善）経費増加した ・軽油代金の値上げが止まらないため、かなり大きな負担となっている ・客先への運賃値上げ要請はなかなか出来ないのが現状である
	<p>【卸、小売業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入れ値が上がっても、売値をなかなか上げられないので辛い ・連日スーパー安売りチラシが入っているため年々客が減っている ・コンビニ、ドラッグストアの進出による来客数が減少した ・小麦等の値上げに加え、光熱費増による値上げが大きい

項目	意見等
<p>主に経済動向に 起因すること (業種別)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町自体に人通りがない。大体がスーパーや大型店に出向くようである ・受注数が減っている ・人の流れが変わって、商店街で買い物するお客様が減った ・競争激しく販売単価を上げられない ・仕入先が余裕のある経営が出来なくなっている。新しい商店に対する投資、円安に伴う仕入れが高騰した ・一般の人たちが着物を着なくなっている <p>【サービス業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層のニーズの変化が激しい ・低料金店舗の増加により経営が厳しい ・子供や若者の人口が少ない ・ガソリン等が値上りした ・円安で物価が上がり仕入れ単価も上がるが、商品への価格転化までには至らない。来春、消費税アップが心配である ・仕入れ商品の価格上昇。特に中古建設機械が異常な高価格で客先（土建業者）の要望に答えられない ・不景気気運がまだまだ根強く、遊びにお金を使うケースが少ない ・来店周期が一人当たり 10～30 日伸びている。 ・近年、次々と大型スーパーができ、コンビニも増え、ファミリー居酒屋や回転ずし店が増加。大変厳しい経営が続く ・売上げ減により、人件費の割合が増えた ・光熱水費が負担である ・仕入高分、ガソリン等含む資材料等コスト高分を価格へ転嫁が困難である。ネット等の価格オープンの影響で業界的に低価格化への流れが止まらない ・少子高齢化による民間需要の低迷を原因とする仕事減が心配である ・単価が変わらずに仕事内容が増加した ・IT 開発案件が北陸に少ない。あっても短期のプロジェクトで続かない ・サラリーマンの小遣いが少なくなっている <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少が起因している ・全国チェーン店等の価格競争の単価に対応できない ・経費が増加する割には収入が上がらない ・他行競合が激化している ・LNG、LPG等の原料価格については不透明であり、原料価格が企業利益を大きく左右する ・原材料の値上げにより利益を確保することが難しい ・金融機関の競合により金利が低下傾向にある

項目	意見等
自社の経営環境に関すること (経営改善・設備投資など)	【建設業】 <ul style="list-style-type: none"> ・重機の老朽化で修理代が掛かりすぎる ・加工機老朽化に加え、部品製造打ち切りのため新規購入資金不足である
	【製造業】 <ul style="list-style-type: none"> ・製造機械の老朽化のため更新したいが、収益向上が見込めないので出来ない ・設備投資(新しい機械)をしたいが、資金が足りない ・生コン製造設備老朽化のため、業務効率が悪い ・住宅の洋風化のため、和室の受注が少ない ・企業間取引が減り、受注が小型になったため生産効率、材料の無駄、労務などの問題が山積みである ・受注先より本来の仕事に付随した雑用の押し付けが増えた ・現在の設備が30年以上使用しているので、精度・スピードの点で劣化が著しい(最新鋭の機械に比較して) ・納期日の短さに対応するため残業費がかさんでいる
	【運輸業】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度より消費税が上がると大変厳しくなるだろうが、今のところは問題ない。 ・車輛が古くても入れ替えがなかなかできない
	【卸、小売業】 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客の減少、高齢化している(漁業者、マリンレジャー客(ボート所有者)、港湾土木業者) ・設備が古く電気料がかさむ。また修理費用も掛かり利益を圧迫している ・地元のショッピングセンターに食品スーパー部門が無くなった ・売上げが減少し、借入金の返済額が多く苦しい
	【サービス業】 <ul style="list-style-type: none"> ・年々、代理店業務のため、保険会社とお客様のニーズの変化で業務の仕事が難しくなっている ・店のお客様の来店が減少している ・新郎新婦の衣装の式場への持ち込み禁止、呉服店・写真館等のレンタル業務開始、情報の氾濫によりお客様の要望が多様化してきた ・人間関係が希薄になっている

項目	意見等
自社の経営環境 に関すること (経営改善・設 備投資など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の老朽化が目立ち、後継者もない中での投資や売上げの不安から現状維持するしかない ・ 取引先の新商品開発が減少している ・ 住宅と店舗が一緒に過剰在庫が邪魔している。処分するだけの時間や資金がない ・ 某化粧品会社の自主回収問題からの客数が激減した ・ 新商品作りをしてくれる工場を探すところから始めないといけないため、商品化されるまで時間と資金が掛かる。その間、売上げがない ・ 例えば2本補充したい場合でも5本単位(くくり)でしか仕入れさせてくれない商品があり、度重なると経費アップになってしまう ・ IT開発案件が北陸に少ない。あっても短期のプロジェクトで続かない ・ 顧客のニーズが消費税のアップによってどのように変わるか見えない ・ 客層が高齢化し、交通手段が乏しくなり、来店回数が減少している ・ 以前より業務量が増えているにもかかわらず値引きを求められることも多い ・ 設備が20年以上の物がでてきて、一つずつ修理や交換をしなくてはいけなくなってきたが、資金がなく困っている ・ 新製品開発の予算の確保が難しい ・ 新しい患者が来ない
	【教育、学習支援業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供英語教室は様々な塾との競争もあり「お勉強」「お受験」とならないよう、ここにしかない価値のある英語教室とならなければいけないと実感している ・ 競業の低価格訴求対策、多様化するニーズに対応するだけの設備投資、人材確保にやや遅れをとっている
	【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 代金が7~10日未振込みである ・ 10年間、設備の更新をしてこなかったため、設備が老朽化した ・ 技巧料金が上がらない(上げることができない) ・ 他社との競合のため単価を下げて受注し、利益を少なくする ・ 利用者の引越しが多く、新しい利用者も増加しない ・ 大型消耗品等の買い替え費用が大きい。消費税アップの場合の販売単価の設定が難しい ・ アパートの外壁、屋根の修理、室内のクロス張替えなどの経費がかさんだ ・ 店舗老朽化に伴い雨漏りが発生した ・ コンピューター入れ替え等により経費が増加した

項目	意見等
自社の経営環境 に関すること (人材の確保、 育成など)	【建設業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人員を募集しているが確保するのが容易でない ・ 建設業は昔から3K産業と言われているが、特に最近、鉄筋工・型枠工・石工等の職人が不足し確保するのに苦勞する ・ 現場人工の不足のため派遣に依頼すると質が悪く賃金が高い ・ 各業者(社)が忙しすぎて人手を確保できない ・ 従業員の高齢化に伴い、若手従業員の確保・育成の必要があるが、人材確保はなかなか難しく、熟練技術者の技術の継承は厳しいものとなっているのが現状である ・ 職人になる人が少ない
	【卸、小売業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出店のチャンスはあるが必要な能力を持つスタッフが育っていない ・ 求人にはリクルート機関を利用し人材確保できている ・ 子供はしたがるしないし、させたくない。 ・ 業績不振による人件費減からの人員の確保が難しい
	【サービス業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人でやっていて後継者がいない ・ 年齢、体力の限界を感じている ・ 従事希望者が非常に少ない。同業他社も同様である ・ 専門的知識、経験者が不足している ・ 建設業界への技術者不足が常態化している ・ 体調と高齢につき困難なことが多く出てきている ・ 単価下落、客先の減少傾向にありながら業者数は微増である。企業集約が進まず価格下落で必要な人材を集めにくくなっている ・ 例えば数分間に5人の患者が来ても、時間がかかって最後の5人目の人は帰ってしまう ・ 新卒社員がなかなか入ってこない
	【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が進み、若手経験者が不足している ・ 後継者の不足による組合員が減少している ・ 現労働者は高齢のため、先行きが不安である ・ 従業員が高齢化しており、作業効率が低下している

資料3 中小企業景況調査 設問6 市に対する意見・要望について

項目	意見・要望
市内経済全体 に関わること	【製造業】 ・ 人手不足となっている ・ 白エビ等のブランド化により原料が値上がりした
	【サービス業】 ・ 規制緩和を促進することが必要である。例えば、小学校中心の調整区域を高岡市の中曽根区域のように市街化するようにしてほしい ・ 国策による公共事業への投資の継続性が不透明である ・ 地元の業者を特に利用するようにしてほしい
中小企業等 に対する施策の 改善・要望 (業種別)	【製造業】 ・ 施設の建て替えを考えているが、建築許可がおりない
	【サービス業】 ・ 業務への規制が強い

射水市中小企業振興計画策定委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 射水市中小企業振興計画（以下「計画」という。）の策定にあたり、射水市の中小企業を取り巻く課題を明らかにし、その課題の解消と中小企業の振興及び地域経済の活性化を検討、協議するため、射水市中小企業振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 市内中小企業の現状を踏まえた課題の把握に関すること。
- (2) 中小企業の振興に向けて取り組む目標や施策に関すること。
- (3) その他、計画の策定に関すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は、学識経験者、関係団体等から組織し、市長が委嘱する。

2 委員会に、オブザーバーの出席を依頼することができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、計画策定完了の日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(職務)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員長は、委員会の議長となる。

3 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(協議結果の取扱い)

第7条 委員会は、協議が調った事項について、市長に提言するものとする。

(事務局)

第8条 委員会の事務を処理するため、事務局を射水市産業経済部商工観光課に置く。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成25年8月1日から施行する。

射水市中小企業振興計画の策定経過

期 日	経 過 内 容
平成25年8月28日(水)	○第1回策定委員会 ・趣旨と計画期間について ・統計データからみた市内経済状況について ・中小企業景況調査について
9月10日(火)～9月30日(月)	○中小企業景況調査(アンケート)の実施
11月7日(木)	○第2回策定委員会 ・調査結果と課題の検討について ・推進施策、成果指標と目標値等について
12月27日(金)～ 平成26年1月27日(月)	○パブリックコメント募集
2月18日(火)	○第3回策定委員会 ・パブリックコメントについて
2月21日(金)～3月14日(金)	○パブリックコメントの対応を市ホームページで公開

射水市中小企業振興計画 策定委員会名簿

	氏 名	所属・役職	備 考
1	中 村 和 之	富山大学経済学部 教授	委員長
2	八 嶋 祐 太 郎	射水商工会議所 経営向上委員会 委員長	副委員長
3	有 沢 仁 志	高岡公共職業安定所 所長	以下 50 音順
4	石 黒 厚 子	(一財)北陸経済研究所地域開発調査部 主任研究員	
5	石 黒 将 士	(公社)射水青年会議所 副理事長	
6	斉 藤 清 貴	(公財)富山県新世紀産業機構事務局 次長	
7	砂 原 良 重	射水商工会議所 業務指導課長 経営指導員	
8	田 中 達 也	富山県経営支援課 課長	
9	徳 永 た つ 子	射水市商工会 女性部部長	
10	橋 場 憲 夫	射水市商工会 理事 総務副委員長	
11	松 井 寿 克	北陸銀行 小杉支店長	
12	松 坂 稔	射水市商工会 理事 商工同友会長	
13	米 田 秀 樹	射水商工会議所 地域活性委員会 委員長	

*委員の所属・役職名は、第1回策定委員会開催時(平成25年8月28日現在)のものを掲載しています。